

たばたあずみ



Tel・Fax 550-6674

山根とみえ



Tel・Fax 550-4224

戸沢ひろゆき



Tel・Fax 558-9721

12月市議会

山根とみえ議員の一般質問

日本共産党の山根とみえ議員は、12月市議会の一般質問で（1）安心できる医療・介護（2）市営住宅跡地利用について（3）草花公園住宅建設に伴う学童の通学路の安全対策について質問しました。以下質問の要旨をお知らせします。

国保税値上げ中止を

率9.94%1億9100万円増額

質問 12月議会に出された国保税の値上げの内容と特徴点は。

答弁 率では9.94%、額では1億9100万円増額
特徴点は資産割の税率を15%から7.5%に2分の1に引き下げたこと。その理由として、平成29年度より国が国保の広域化をめざしていることにより今後2方式になった場合、税額的大幅な引き上げを回避するため激変緩和措置をとった。

加入者の所得は、300万円以下が85%

質問 加入者の所得階層はどのようになっているか

答弁 所得なし世帯25.9%、100万円以下が19.7%、200万円以下が24.4%、300万円以下が14.9%で300万円以下の世帯が85%を占めている。

一般会計の繰入金、多摩26市中24番目

質問 多摩26市の一般会計からの繰入金の状況は当市の繰入金は26市中何番目か。

答弁 26市の一人当たりの平均は33,720円。あきる野市は21,409円で、26市中24位である。

一般会計の繰入金を増やし値上げ中止を

質問 国保加入者は収入が少ない人が多く加入している。さらに払えない人を増やさないためにも、一般会計からの繰入金を増やし値上げを中止すべきと思うがどうか。

答弁 独立採算と受益者負担の原則に基づき、税率改定はやむをえないと考える。

質問する山根議員



安心できる介護保険制度を

質問 国の見直し案では、要支援1と2の人の介護保険給付を廃止し、市町村の地域支援事業に移し、サービスの内容や料金設定など市町村の裁量で決めるとのことである。また特養ホームの入居者を要介護3以上の人に限定するなどの方針を示した。要介護2以下の入居希望者に対してどのように対応していくかなど、市は具体的な検討を行っているか。

答弁 介護予防給付の移行については、訪問介護及び通所介護に限定すること。要介護2以下の人であっても、特養ホーム以外に入所困難な方については例外を認めるなどの見直し案が出されている。今後見直し案が明確となった時点で具体的な検討をしていきたい。

市営住宅の跡地利用について

質問 折立市営住宅跡地利用について、災害時の一時避難場所として利用できないか。

答弁 基本的には売却を前提に財政の健全化を図りたいと考えている。今後、公共的活用が図れるかを視野に入れ、地元要望や地域特性なども踏まえて検討していく。

草花公園住宅建設に伴う学童の安全対策について

質問 大型車の搬入時間を、登下校の時間帯を避けるなどの安全対策についてどのような協議が行われているか。

答弁 8時前後の朝の通学時間帯を避け、下校時は3人の交通警備員を配置し万全を期していきたい。

「特定秘密保護法案の廃案を求める意見書」

自民・公明が否決!!

日本共産党市議団は、12月定例会に特定秘密保護法案の廃案を求める意見書を提案しました。11月28日に行なわれた審議では、自民党を名乗る2会派と公明党が反対し、否決。しかしその質疑内容は・・・。(発言は要旨)

意見書案に「なんらかの機密保持の法律が...必要であるとしても」とあるのを「機密保持の法律が必要であると書いている(自民党志清会)」。意図的な内容のすりかえです。「修正案は、報道の自由や人権の尊重も盛り込まれた十分な内容。評価している新聞もある。(公明党)」日本新聞協会も日本ペンクラブも、報道の自由が守られないとして反対しています。



「ひとつ漏れれば次々漏れる。(公明党)」正体のわからない大きな秘密のために、国民全員をスパイ扱いしようというのでしょうか。

「私の銀行口座を人に知られたくないように、国にも秘密にしたいことがあって然るべきでは。(公明党)」国の秘密のためにプライバシー侵害もゆるす法案なのです。国のためなら、銀行口座も人間関係も趣味も病歴も...知られたくないことまで、本人にも知らせずに調べ上げる。人権無視です。あげく、反対討論もせずに、数の力で否決しました。

一方、保守の合川議員(政和会)の賛成討論は立派でした。日本版NSCとの関係、特定秘密保護法案の問題点を挙げ、「民主主義の崩壊につながる暴挙」「この問題については保守も革新もない。今からでも遅くない。ぜひ勇気を持って賛成を」と呼びかけました。

その後国会では、12月6日、国民の反対の声を押し切つて、特定秘密保護法案を強行採決により成立させました。議論すればするほど明らかになる、人権無視・憲法違反の内容。国民の反対が大きくなることを恐れての蛮行としか思えません。

日本共産党市議団が提案した 「特定秘密保護法案の廃案を求める意見書案」



現在、特定秘密保護法案が国会で審議されています。しかし、その対象となる「特定秘密」は、政府・行政機関の長の判断により際限なく範囲を広げられることが指摘されており、情報公開法に逆行、国民の言論・表現の自由を脅かす危険をはらんでいます。また、「特定秘密」を取り扱う者は公務員か否かにかかわらず、その家族や友人知人までが身辺調査の対象になり、人権が侵害される恐れがあります。

戦前の日本では、軍機保護法や国防保安法などが真実を隠し、国民が戦争に駆り出されました。国民に対し国家が秘密を持つことが戦争に近づく一歩であることは、歴史の教訓です。

こうした本法案の問題点は、日本国憲法の基本理念である平和主義、基本的人権をも脅かす大きなものであり、なんらかの機密保持の法律が防衛や外交等に必要であるとしても、今国会での決定は早急に過ぎます。

よってあきる野市議会は、政府に対し特定秘密保護法案を廃案にするよう意見書を提出するものです。



賛成 		反対 		
あきる野市議団 日本共産党	戸沢 弘征 山根 とみえ たばた あずみ	自民党志清会	市倉 理男 町田 匡志 澤井 敏和 細谷 功 子籠 敏人 村野 栄一 中嶋 博幸 天野 正昭	
	民主党		清水 晃 中村のりひと	公明党
政和会	合川 哲夫 野村 正夫		あきる野市議会議会 自民党	村木 英幸 奥秋 利郎

法律相談

12月26日(木)13時半～15時

予約が必要です。市議団までご連絡下さい。